

子どもの「育ち」と「学び」を支援する保護者ボランティアの活性化

下関市立熊野小学校PTA

1 学校地域の概要

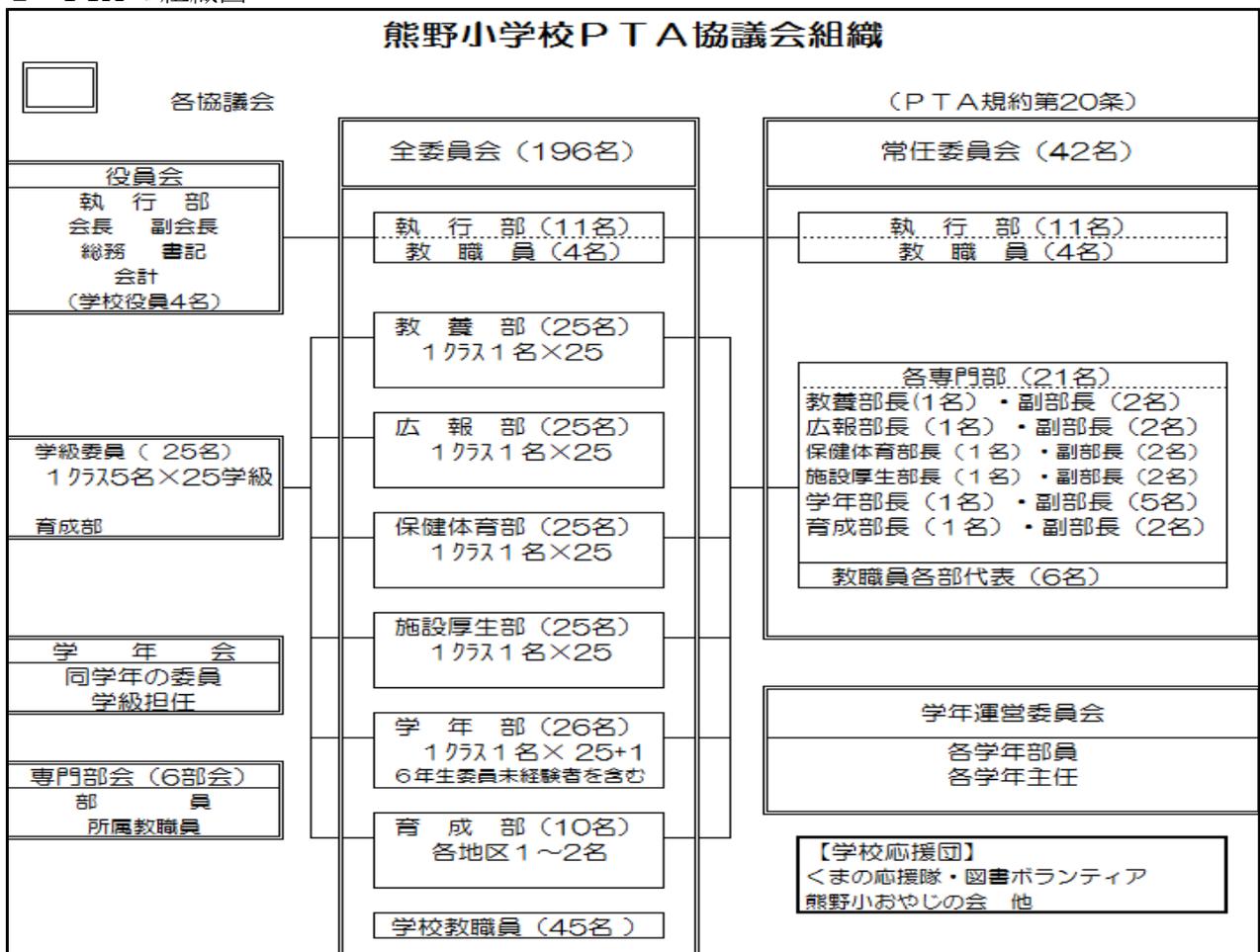
- ・PTA会長 吉本孝之 ・校長 安宅正哉 ・児童数799人 ・会員数1,093人
- ・所在地 下関市熊野西町10番1号

本校は、本州の最西端下関市の中央部に位置し、開校28年目の市内で一番新しい学校である。近年の宅地造成により児童が増え、児童数が800名前後で市内でも2番目の大規模校となっている。地域の方の教育に対する期待も大きく、本校教育に熱心で、協力の気風も高い。『日本一学びが好きな学校』をめざすことで、熊野地区を愛し、知・徳・体の調和のとれた子どもを育成する」という教育目標を掲げ、日々の教育実践に取り組んでいる。

また、5年前に始まったコミュニティ・スクールの取組をさらに進化させ、学校・家庭・地域が「地域の子どもの育成」を念頭に置き、学校教育の活性化や教育力の向上ために連携しながら教育活動を進めている。

また、PTA活動もコミュニティ・スクールと連動し、全保護者が連携をして子どもたちの「育ち」や「学び」を支援するとともに、保護者ボランティアの活性化を進めている。

2 PTAの組織図



### 3 研究テーマについて

#### 『子どもの「育ち」と「学び」を支援する保護者ボランティアの活性化』

学校の学習活動支援や教育環境整備を充実させるためには、保護者の理解と協力が必要である。そのために、保護者が学校と連携しながら「保護者としてできること」を考え、「できることをできる時に」を大切にしながら負担を感じない自発的な活動を展開していく。そして、それらの活動の中で、学校教育への理解を深め、保護者同士の「つながり」を強めながら「やりがい」も感じられるようにしていく。

また、保護者ボランティアとして、PTAやコミュニティ・スクールの組織に位置づけ、地域との連携・協働も進めていきたい。

### 4 活動内容

本校の学校支援ボランティアを大きく分けると、4つに分けられる。それらの中核となる「くまの応援隊」は、学校支援のために、幅広く保護者の支援や地域の教育力を活用する仕組みである。

また、現在のところ、「くまの応援隊」とは別の組織で、企画・運営を自立して活動しているボランティア団体が3つある。

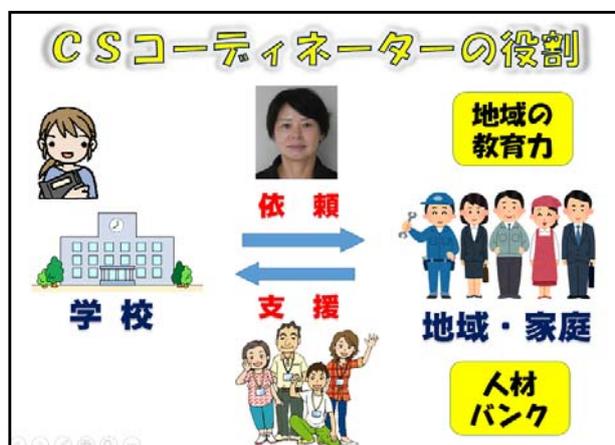
これら4つの学校支援ボランティアについて詳しく述べる。

#### (1) くまの応援隊

くまの応援隊は、本校でコミュニティ・スクールが始まった時に結成された保護者や地域の方の学校支援ボランティアである。コミュニティ・スクールが始まる前から続いている活動もあるが、学校からの要請、連絡調整、準備等が円滑に行われるように、窓口を一本化し、それらを総括するために「CSコーディネーター」を1名置き、支援活動を行っている。

CSコーディネーターの役割は次の通りである。※CSコーディネーターは元保護者

- ①学校（担任）から学習支援の要請（日時、内容、人数など）
- ②「くまの応援隊」の登録者に、メールや電話、ホームページで知らせる。
- ③支援の申し出のあった個人や団体と連絡調整をする。
- ④支援当日のボランティアの接遇や活動の支援を行う。
- ⑤活動後に、ボランティアに聞き取りを行い、次の活動に生かすための記録をする。
- ⑥活動の様子を写真記録して、ホームページやPTA広報紙に掲載し、広く周知する。



普段からのネットワークづくりに努めている。学校情報をきめ細かく伝えている。



口コミで活動の輪が広がっている。「やりがい」を高めていくことが重要

**家庭教育配布**

**ただいま活動中！！**

**「くまの応援隊」を募集しています！！**

◎ 「くまの応援隊」を知っていますか？

名前のとおり、熊野小学校の子どもたちや子どもたちの活動を声や身体で応援していただく地域や保護者の皆さまです。

◎ 応援の時間

いつ来校していただいてもかまいません。ただし、こちらから時間を指定して支援をお願いする場合があります。

◎ 応援の内容

- \* 学習支援・・・ゲストティーチャー 読み聞かせ、暗唱確認、平家太鼓指導など
- \* 家庭科・体育科の実習支援 裁縫、調理の作業補助 持久走の赤路での見守りなど
- \* 校外学習支援・・・生活科、社会科、総合的な学習の時間での地域見学や遠足の引率補助など
- \* 環境整備・見守り活動支援 草刈り、草取り、樹木の剪定、畑作り、大工仕事、本の修理・カバーかけなど 登下校の見守りなど

◎ 応援の方法

裏面の FAX 送信票または電話で学校に申し込んでいただければ「くまの応援隊」として登録されます。

◎ くまの応援隊 Q & A

Q: 登録したら、すべての活動に参加しなくてはいけませんか？

A: いいえ。熊野小学校ホームページに応援隊の情報を掲載しています。支援できそうな活動が見つかった時は「参加します！」とご連絡ください。すべての活動に必ず参加されなくても大丈夫です。

Q: 興味はあるのですが、自分にできるでしょうか？

A: まずは、学校に来て子どもたちの様子を見ていただくだけでもかまいません。子どもたちに笑顔で声をかけてくださることも支援のひとつです。支援依頼した活動については、コーディネーターまたは担当者から説明をしますので、安心して参加してください。

Q: 応援隊への支援依頼は、熊野小学校ホームページにしか掲載されないのですか？

A: いいえ。裏面の「くまの応援隊申込書」のコーディネーターからのメール配信を希望していただければ、支援をお願いしたい活動がある場合は依頼のメールを送信いたします。内容を確認して、支援できる活動がある場合のみ返信してください。

◎ 今後の予定

今後の活動としては、校外学習引率・校内草刈・草取り作業・暗唱確認・図書室整備・持久走大会見守りなどを予定しています。

皆さまのご来校をお待ちしています。

連絡窓口・・・熊野小学校 コーディネーター ひじつく (TEL254-2901 FAX254-2902)

「くまの応援隊」は、賛同者の登録制である。児童家庭に案内文書を配付し、地域に回覧して登録者を募集している。

現在登録数は、メール登録55名、電話や文書で依頼の方35名の計90名が登録者である。これらの方は、様々な内容に対応できるメンバーである。



「くまの応援隊」のボランティア活動は、3つのカテゴリーに分けられ、活動が推進されている。

### ①学習支援

確かな学力の定着のために、学習支援のボランティアの役割は大きい。今年度から近隣の大学生（教員養成課程）に夏休みのサマースクール（4日間）や習熟タイム（毎週月・木曜日の放課後20分間）の支援をお願いしている。丸付けなどの補助だけでなく、考え方や解き方の指導も併せて行っている。今後は同時に保護者や地域の方の支援も広めていきたい。

「詩の暗唱確認」も好評である。1年生がその月の詩をしっかりと覚えて、保護者や地域の方に聞いてもらうために練習に一生懸命励んでいる姿が多く見られている。そして褒められることによりさらにやる気が高まっている。地域の方も「子どもたちががんばり、そして喜ぶ姿を見て元気がもたらされた。」という感想をたくさん受けている。

**大学生の学習支援**

**新企画**

月・木曜日の放課後の習熟タイム

**地域の方の学習支援**

**詩の暗唱の確認**

**1年生がチャレンジ！**  
ほめられるとやる気が出ちゃう！

また、教科指導の中でもたくさんの支援を行っている。

1年生生活科の「昔遊び」の学習では、地域の敬老会や民生委員と連携して広く呼びかけて参加を募っている。昔の遊びを通して、地域のお年寄りと子どもたちが交流し、会話の中で昔のことや地域のことを聞くことができ、子どもたちの地域への関心が深まっている。

5・6年生の家庭科のミシン学習では、担任1人だけでは、個別の指導になかなか手がまわらなかったが、学習支援を受けてミシンの使い方など少人数でわかりやすく支援することができ、学習効果を高めることができた。



ボランティア自身の特技を支援に生かす取組も行われている。クラブ活動では、地域在住の将棋の有段者や伝統芸能演奏者が指導し、レベルアップした活動が行われている。それ以外にも、趣味や特技を生かした支援がたくさん行われている。



## ② 安心・安全支援

子どもたちの安心・安全のためにたくさんの支援を受けている。登校の見守りでは、地域の方数名が毎朝、交通の要所で見守りを行っている。また、保護者も学期に1回程度、指定された場所で交通当番を行い、子どもたちの登校の様子を確認して安全管理に努めている。





また、授業時間中の安全管理のために、多くのボランティアがかかわっている。特に水泳学習では、常時2～3名の支援があり、シャワーやトイレ、道具の出し入れなど、教員が水泳指導に集中できるように、補助支援を行っている。

また、低学年が生活科で地域を見学する機会が多いことから、同行して安全管理にかかわっている。持久走大会も安全管理や走っている子どもたちの健康管理にしっかりと目を配って支援している。

### ③教育環境管理



教育環境の管理にもたくさんのボランティアがかかわっている。

毎週月曜日に玄関の花を飾っている活動がある。

今年度から「学校を学び場」として活用していくために、大人の学習の場にできないかと相談したところ、花を学ぶ活動をすることになり、「フラワーアレンジメント教室」が始まった。今年度は3回開催された。また、「英会話教室」や「韓国語教室」も行われ、地域の方や保護者の交流の場となり、学校に出向くきっかけづくりにもなっている。

「大人の学び場」第1弾

熊野小コミュニティ・スクール  
**フラワーアレンジメント教室**

地域の方を講師としてお迎えし、地域と保護者の方の「大人の学び場」として、楽しく交流しながら学びませんか？  
また、学校や子どもたちががんばっている様子も同時にご覧ください。参加をお待ちしています。

**日時・日時**  
10月24日(火)  
13時30分～15時  
熊野小学校  
図書工作室  
30名

**講師**  
久米川弘美さん  
安本 智子さん  
(MOA光輪花)

**参加費500円**  
持参物  
小さいかご等(あれば)  
花バサミ(工作バサミ可)  
持ち帰り用ふくろ

下関市立熊野小学校  
下関市熊野西町10番1号  
083-254-2901 (担当課線)  
きりとり

**フラワーアレンジメント教室**  
参加申込書 締切10月13日(金)  
参加者氏名( )  
※お子さんの(年 組)  
☆地域の方は連絡先をご記入ください( )

地域の方が「今まで学校に行きたいと思っていたけど、なかなかきっかけがなかった。この活動に参加して、学校に行く機会ができてとてもうれしい。学校で何か私にできることがあったら支援したい。」という声が多く聞かれた。





この他にも、たくさんの支援が行われている。特に、印刷支援は学校に好評で、「印刷はボランティアに任せてください。その時間を子どもたちのために活用してくださいね」という気持ちで努めている。

「できる時」という気持ちで、手の空く時間を生かして、「ちょっとだけボランティア」として、花壇の整備や草抜き、庭木の剪定のために、短時間だけ来校して活動している姿も多く見られる。

(2) 自主的に活動しているボランティア (3 団体)

① 読み聞かせ「てんとう虫の会」



長年行われている活動である。保護者OBが中心となって活動を進めている。

活動内容は、

- ①朝学の「読み聞かせ」 25回 96人
- ②昼休みの「読み聞かせ」 7回 14人
- ③食育について 4回 11人
- ④話し合い・準備 5回 40人

毎回4人、年間のべ160人のボランティアがかかわっている。自分の子どもが卒業しても、続けて活動する方も多し。子どもたちの聞く姿勢も育ってきている。



② 図書ボランティア

図書室の掲示作成



季節にあった飾りを作りましょうね!

業務支援

毎月3回程度、会員が集まって活動している。主に図書室の環境管理で、季節にあった掲示や読書促進の仕掛け、新刊の貸し出しの手続きや本の修理等を行っている。また、学校目標などの玄関の掲示なども作成した。本来なら教員の仕事であるが、積極的に活動することで教員の業務改善につながっている。年間33回、のべ150人が参加している。

### ③熊野小おやじの会



今年度から「熊野小おやじの会」がついに活動を開始した。「おもしろくて、すてきで、少年のように遊び心を持ち続けているお父さん」の活躍の場である。

様々な職種や特技の持ち主の父親たち、もちろん母親や地域の方、教員も活動に参加している。この度、助成を受けて工具や材料を購入することができた。

みんなで楽しく協力して、木を切ったり黒くなった床を磨いたりしながら、「子どもたちを喜ばすイベント

をしよう!」「もっと学校をきれいにしよう!」などの思いや願いが広がっている。魔法のように、作業があつという間に!限られた時間の中で行われている。そのできあがりに、翌日子どもたちがびっくりする光景が見られている。

「すべては子どもたちのために」を合い言葉にお父さんたちは楽しく活動している。定期的に行っている懇親会では、父親と地域の方、教員が交流しながら、学校や子どもたちの話で盛り上がっている。

### 「熊野小おやじの会」の登録について

このたび、熊野小学校保護者および保護者OB、地域の方などの有志による「熊野小おやじの会」を発足することになりました。  
本会は、熊野小学校の子どもたちの健全な教育環境づくりのための支援活動を行なうこととしています。小学校はお子様の成長が目に見えて感じられる場所です。その時間を共有しながら、子どもたちの安全や一緒に楽しめる活動をみなさんの力で支えていく活動に参加しませんか? 本会の活動内容にご興味いただける方のご参加をお待ちしております。「おやじの会」ですが、女性も大歓迎です。  
つきましては、下記の会員登録申込書を記入されて、切り取って学校担任にお渡しください。たくさんのご加入をお待ちしています。登録者の状況を見ながら、「始めの会」日時や活動内容について、登録者に個別にお知らせいたします。



- 【熊野小おやじの会 の特徴】
- ・「参加できる人が、無理なく可能な範囲で参加する」を活動方針として、都合のつく方が都合のつく日に、学校の教育活動や施設改善に関する支援を行う気軽な会です。
  - ・「本人が楽しむ」をモットーに肩に力を入れずに活動し、入会、脱会は随時 OK です。
  - ・毎月1回定期的に、熊野小学校で「定例会」を行う予定です。お気軽には「始めの会」で参加します。
  - ・定期的に懇親会を行い、交流をじっくり深めます。

こんな活動を考えています!

校庭の整列り、校舎の修繕(材料は学校が準備)、ペンキ塗りPTAバザーに出店 など いろいろあります!

「こんなことができなにか?」「こうやったらいい!」など小さな気付きを大きく実行できる活動にしていきたいと考えています。

.....さりとり線.....

#### 「熊野小おやじの会」会員登録申込書

年 組 保護者名 \_\_\_\_\_

連絡先 メールアドレス(主な連絡手段) \_\_\_\_\_



携帯番号 \_\_\_\_\_

※担任までご提出ください。

### 熊野小おやじの会だより

第3号 29・11・2

お世話になります。今後の予定についてお知らせします。ご支援、ご協力をお願いいたします。



#### 今後の活動計画

作業内容 未費・職員用駐車場ペンキ塗り 木下さん作業中!  
※駐車場のマナーがよくなりました!

おやじの会合同作業① 11月11日(土)8時~

正門横のイブキ伐採

※学校内が外からよく見えるようにします。

おやじの会合同作業② 12月 9日(土)8時~

校内施設修繕

校舎階段滑り止め補修  
※現在ゴムテープで補修しています。

高所窓ふき・壁の汚れ取り  
カーペットクリーニングなど

おやじの会 いつでも作業

時間のある時いつでもご来校ください。  
草刈り・剪定 気になるところ など  
※雨が降るたびに草が生長しています。

享年会 11月24日(金) 19時から

場所(予定)

博多一丁目 居酒屋 あらい 山の田店

会費 男性 4000円 ノンアルコール 3000円  
※たくさんのご参加をお待ちしています。

会員同士の連絡は主にSNSの「ライン」を活用している。活動のお知らせや出欠席の確認、また活動についての意見や手順などを情報交換し、当日の活動に生かしている。

会員も口コミで少しずつ増えている。ラインやホームページに活動の写真を載せて活動の振り返りや宣伝も行っている。

熊野小おやじの会は、

「できる時に できることを そして楽しく」

がモットーである。



ボランティア活動の様子を、リアルタイムにホームページに掲載している。その目的は二つあり、一つ目は活動を学校や地域全体に知ってもらうこと、二つ目は、活動した人が自分の成果を確認し「やりがい」を高めることである。

これまでは、様々なボランティア活動をしてきたものの、周知される機会が少なかった。そこで、ホームページで学校や子どもたちの様子、PTA活動、ボランティア活動の様子を、写真付きでリアルタイムに掲載するようにしている。それらの反響も大きく、活動自体も多く知られるようになった。そして活動に賛同する地域の方や保護者が、新しいメンバーになるということも見られるようになった。

## 5 成果と課題

保護者ボランティア活動は、PTA活動の活性化、そしてコミュニティ・スクールの原動力として期待されている。これらの活動は、PTA活動では十分に対応できない作業を行ったり、地域の教育力として学習を支援したりするなど、年々貢献度が高くなっている。そしてかかわる支援者も少しずつであるが増えている。

「できる時に できることを」これを保護者ボランティア活動のモットーだと考えている。けれども、学校規模から考えると参加人数は少なく、まだまだ一部の地域の方や保護者だけがかかわっているのが現状である。少人数であると個人にかかる負担も大きくなり、また多すぎると連絡や調整がうまくできなかつたりなどの課題もある。しかし、かかわる人数が多いことはいいことなので、活動内容ごとにグループ（団体）を作るとか、期間や内容を決めて活動を進めるなどの方法も考えていきたい。

保護者ボランティア活動の活性化のためには、PTA活動の充実がポイントであると考えている。保護者の支援活動は、やはりPTA活動が主体であり、その延長が保護者ボランティア活動と考えている。今後もPTA活動が活性化し、保護者の「つながり」や「やりがい」が高められることで、保護者ボランティア活動の活性化につなげていけるようにPTA活動を推進していきたいと考えている。